

平成 16 年度予算・定数・機構編成について

～さっぽろ元気ビジョン実現のために予算・定数・機構を一体的に編成！

さっぽろ元気ビジョンの実現に向けて、お金・人・組織を効果的に連動させて政策を進めるため、平成 16 年度予算・定数・機構を次の考え方で編成した。

- 1 予算・定数・機構を一体化した考え方のもとで編成する。
- 2 政策・施策論議を行う。
- 3 財政状況が厳しいことを肝に銘じる。
- 4 規制改革と庁内分権を進める。
- 5 今回の取組結果を次回につなげる。

さっぽろ元気ビジョンの政策体系別の編成内容

1 元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ

予算	札幌元気基金事業 (仮称)就業支援センター事業 コーピング 福祉地促進事業 札幌プラウド 構築・推進事業 大学研究成果活用推進事業	・中小企業アドバイザー事業 ・コミュニティ型建設業創出事業 ・集客交流・シティPRキャンペーン事業 ・首都圏シティPR事業 など	機構	・経済局産業振興部の再編 ・経済局に金融担当部長を新設 ・経済局に雇用推進部の新設 ・観光文化局の新設 など
----	---	--	----	---

2 健やかに暮らせる共生の街さっぽろ

予算	まちづくりセンター開設 地域のまちづくり活動推進事業 子育て支援総合センター運営管理 自閉症者専門施設建設 (仮称)視聴覚障害者情報文化センター整備	・障がい者(児)居宅介護事業 など	機構	・子ども未来局の新設 (子ども育成部、子育て支援部、児童福祉総合センターの3部体制) など
----	--	----------------------	----	--

3 世界に誇れる環境の街さっぽろ

予算	公共施設緑化推進 民有地緑化推進 CO ₂ 削減アクションプログラム事業 札幌・環境力・UP事業 風力発電事業性評価業務	木質系バイオマス利用事業 札幌駅前通地下歩道空間活用推進事業 ・道路緑化推進 など	機構	・環境局に環境都市推進部を新設 ・エネルギー部門を集約し、環境局にエネルギー担当部長を新設 など
----	---	--	----	---

4 芸術・文化、スポーツを発信する街さっぽろ

予算	クラフトファーストコンサート事業費補助 芸術文化団体等情報発信事業 教文・アート・プロジェクト事業 サッカー場等整備用地取得	ファイターズ 屋内練習場市民開放事業 北区体育館整備(実施設計) ・文化活動練習会場学校開放事業 など	機構	・観光文化局の新設(再掲) ・財団法人 2007 年 FIS ルネイックス杯札幌大会委員会への派遣 など
----	---	--	----	--

5 ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ

予算	屯田北地区小学校新築 屯田北地区中学校新築 手稲東小学校改築 子ども読書活動推進計画策定 ・子どもの権利推進事業	・高等学校教育改革推進事業 ・学校ビオトープづくり事業 ・(仮称)札幌市立大学設置事業 ・学校図書館開放事業 など	機構	・企画調整局大学設置準備室に連携促進担当課長の新設 など
----	--	---	----	---------------------------------

予算中、は新規事業、はハイレベル事業

予算規模

(単位：百万円、%)

区 分	平成 16 年度	平成 15 年度肉付後	増減額	増減率
一般会計	8 1 2 , 8 0 0	8 0 9 , 8 1 9	2 , 9 8 1	0 . 4
特別会計	4 3 7 , 7 1 3	4 2 4 , 2 5 1	1 3 , 4 6 2	3 . 2
企業会計	2 9 2 , 2 5 3	3 0 5 , 2 4 7	1 2 , 9 9 4	4 . 3
合 計	1 , 5 4 2 , 7 6 6	1 , 5 3 9 , 3 1 7	3 , 4 4 9	0 . 2

一般会計における財源不足額は 5 9 億円。財政調整基金の取崩しで対応

職員定数

平成 15 年度職員定数 15,981 人

平成 16 年度職員定数 15,525 人

456 人の定数減（実人員では 300 人程度の減）

機構編成の概要

副市長制の導入等

助役の役割・職務内容を市民に分かりやすくするとともに、職責の重要性に見合った名称とするために、平成 16 年度機構編成に合わせ、4 月 1 日から助役の呼称を「副市長」に変更する。併せて、庁内分権の一環として、市長から副市長へ、副市長から局区長への権限移譲に向けた検討を進める。

同様に、局区内でも権限移譲を進め、より現場に近いところで意思決定を行うことにより、市民志向でスピード感のある市役所運営を図る。

前ページのほか、主な機構編成は次のとおりである。

- ・危機管理対策室（局組織）の新設
- ・交通局自動車部の廃止、高速電車部と技術部の統合

200 億円の経費削減に向けて

平成 16 年度予算・定数・機構編成での取組みの結果、人員削減、事務事業の効率化などで 1 0 9 項目、8 0 億円の経費削減を行った。

問い合わせ先

総括、副市長、200 億円の経費削減関係：

市役所改革推進室 211-2061 担当 林、富樫、高棹(カサカ)

予算関係：財政局財政部財政課 211-2212 担当 渡邊、石川

定数関係：総務局職員部人事課 211-2072 担当 板垣、宇賀治(ウガジ)

機構関係：総務局行政部都市経営課 211-2177 担当 藤田、田中